

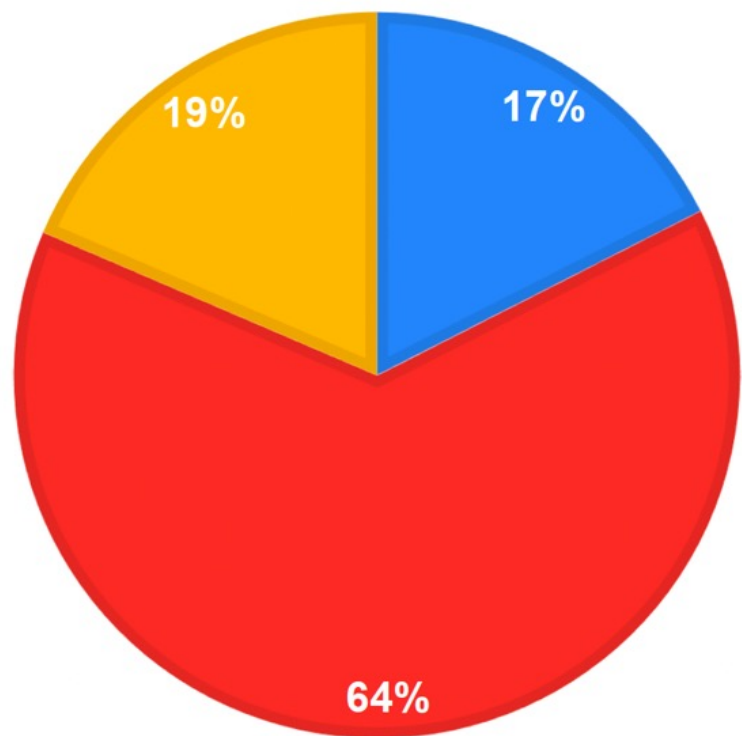
# 将来構想委員会による アンケート結果

口腔外科施設では人員不足が深刻化している。  
口腔外科施設の現状を把握するため、アンケートを実施した。

本学会の研修(准)施設にアンケートを行ない、526施設(82.2%)からの回答を得た

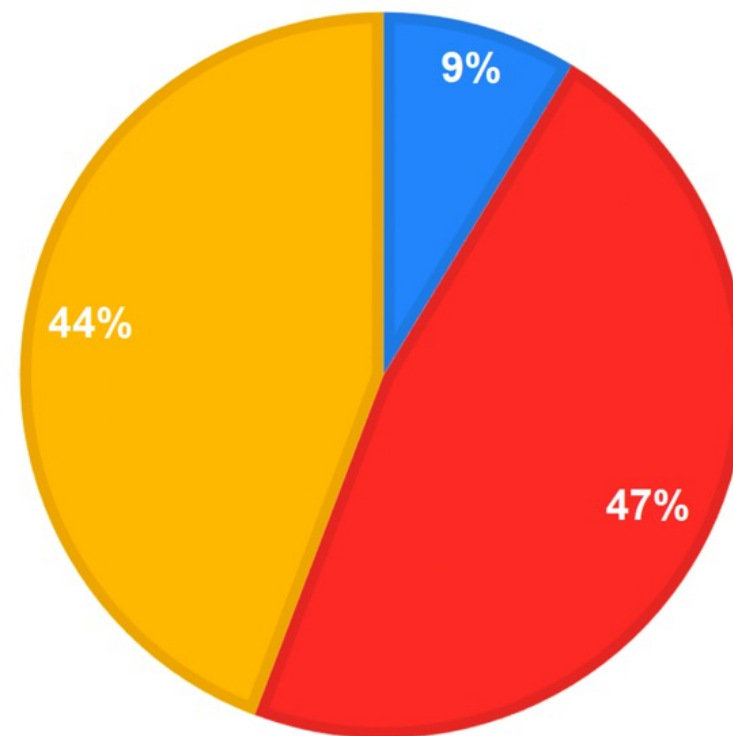
本結果は、今後の人材確保や教育体制の整備、持続可能な診療体制の構築を検討するうえで重要な基礎資料となる。

# 有給職員数について



大学 97件

不足 80%

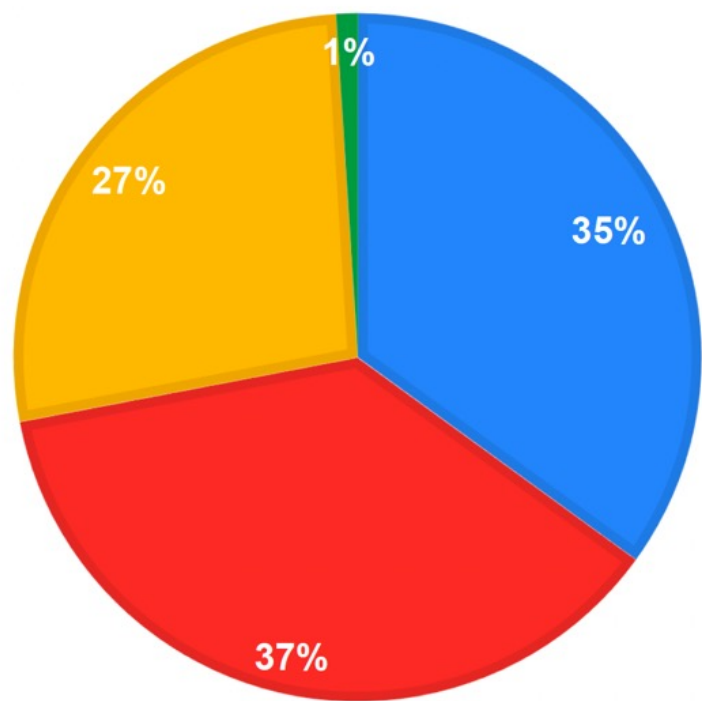


病院425件

不足 56%

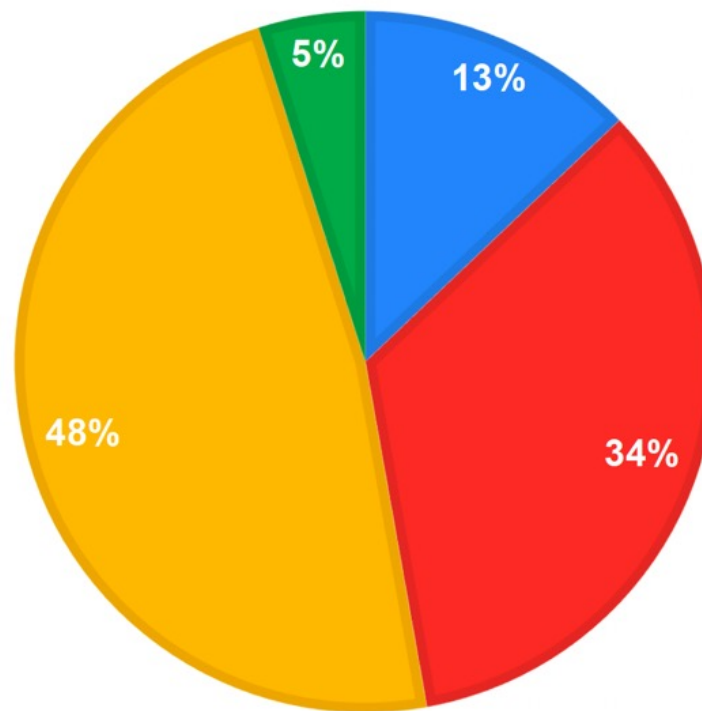
- 大変不足している
- 不足している
- 適切である

# 現在の業務量は1日の労働時間内でこなせる程度だと思いますか？



大学100件

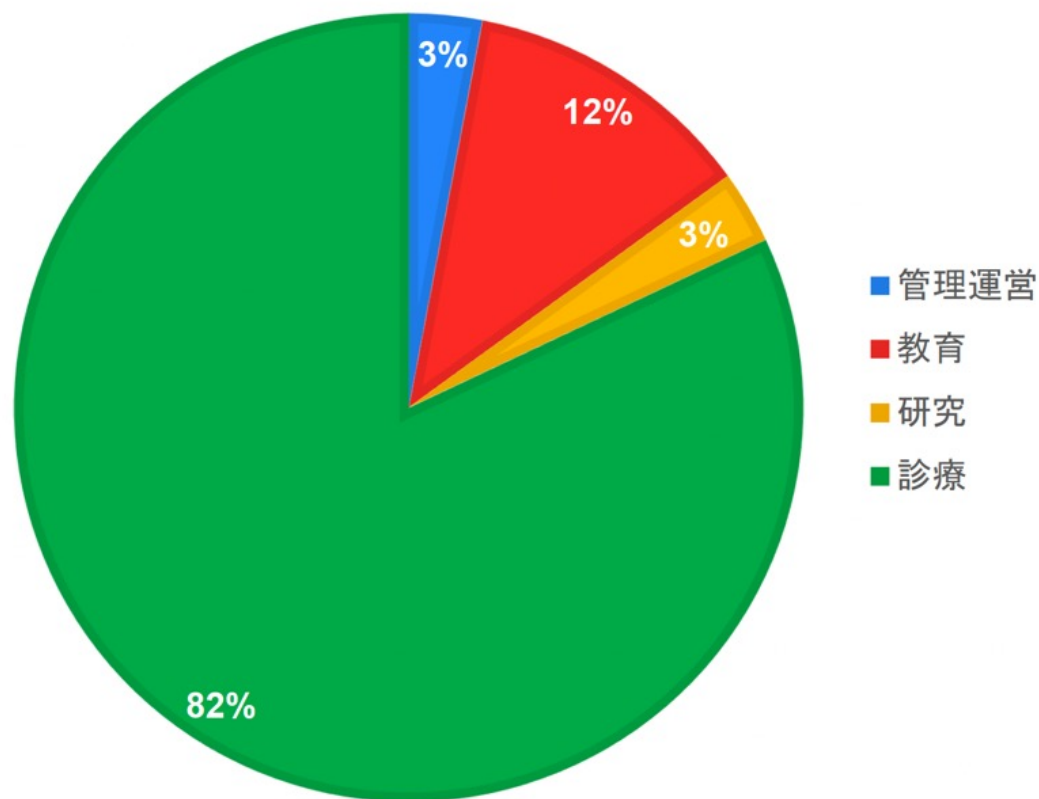
**無理 72%**



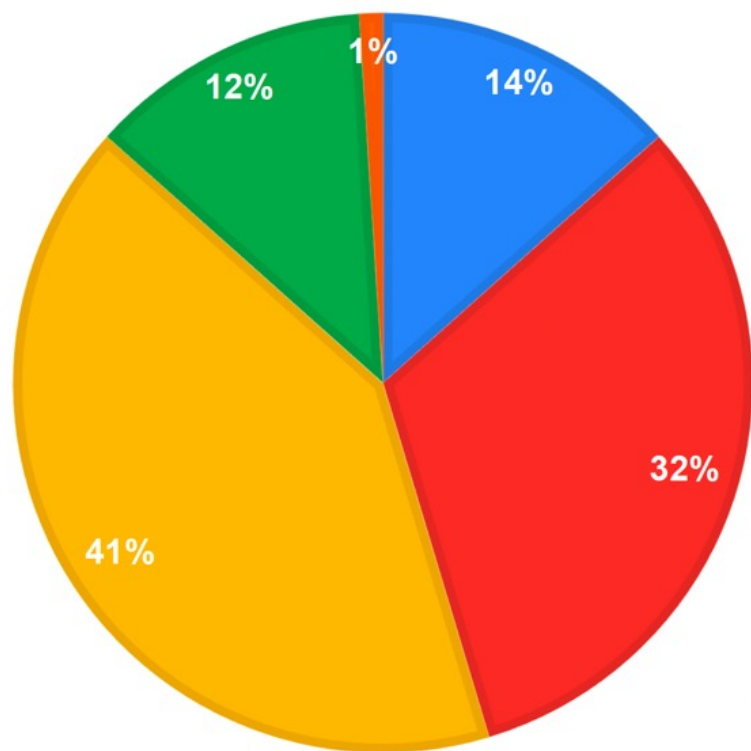
病院426件

**無理 47%**

# 大学100件のみ 最も負担の大きな業務は？

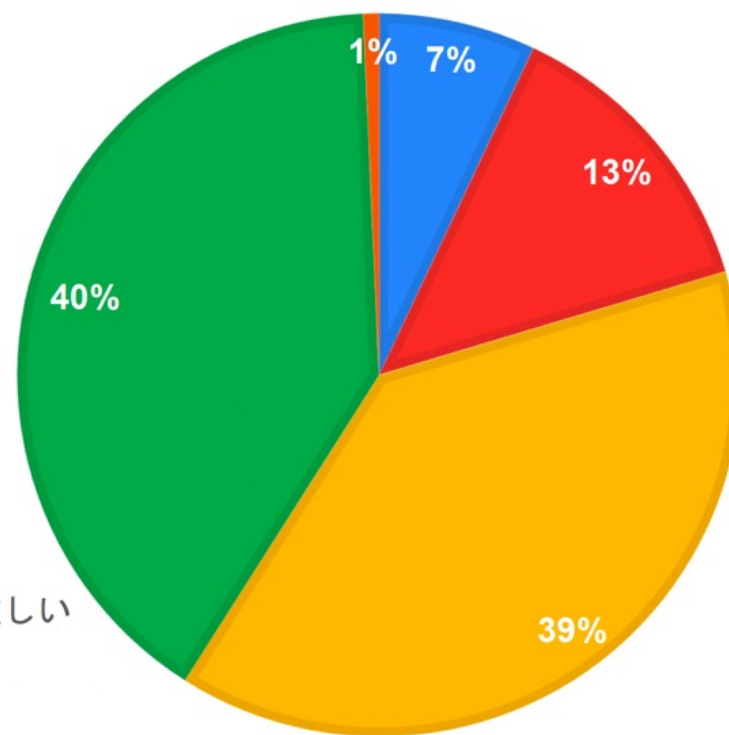


# 現在の口腔外科人員数で業務継続は可能か？



大学 97件

**困難 87%**

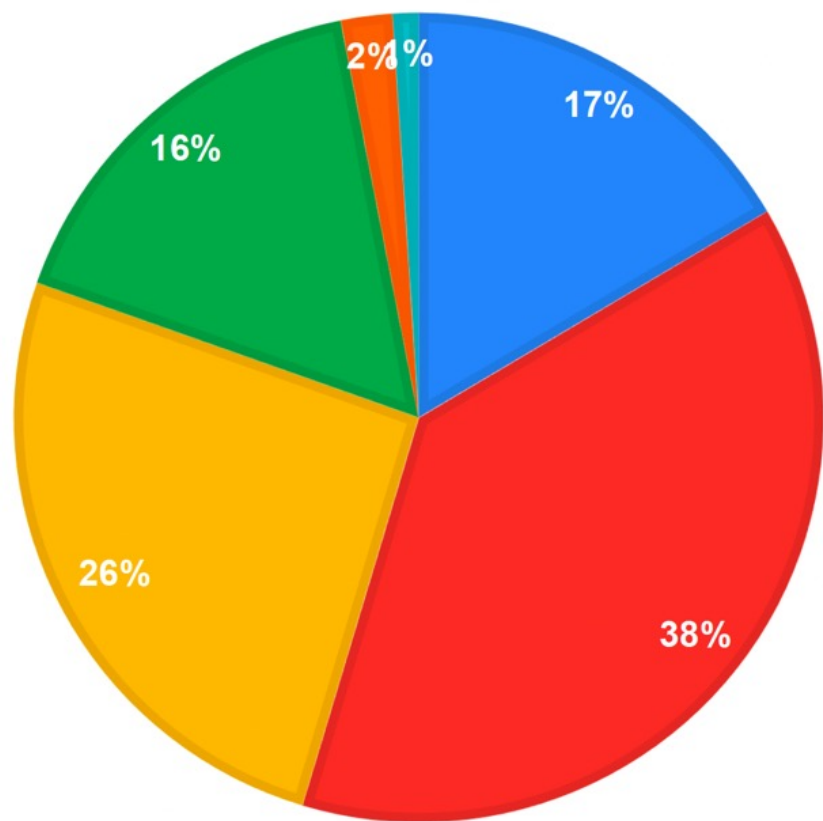


病院427件

**困難 59%**

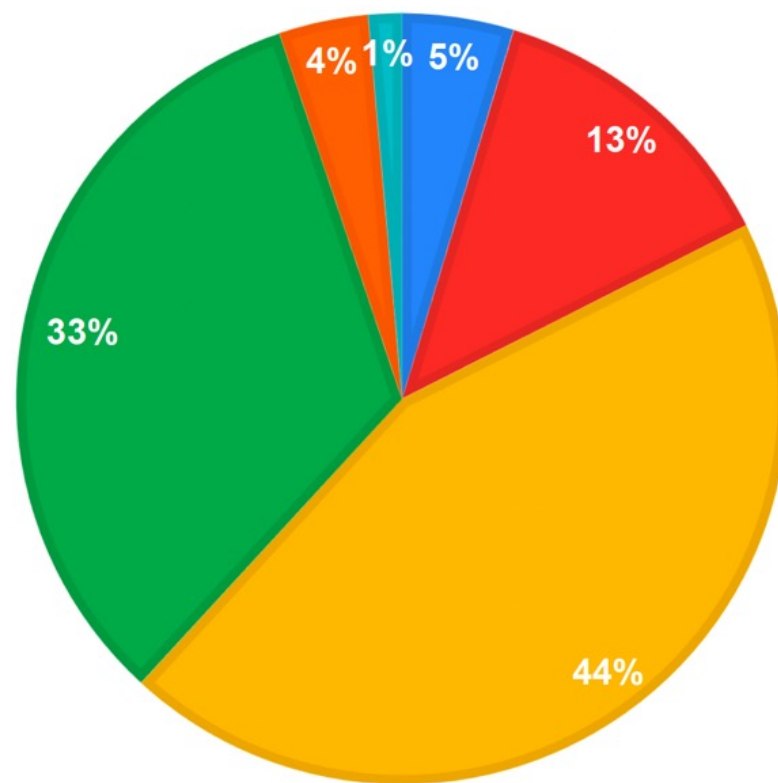
- かなり難しい
- 難しい
- しばらく可能だが難しい
- 継続可能
- 不明

# 過去10年間の貴口腔外科人員の変化



大学 97件

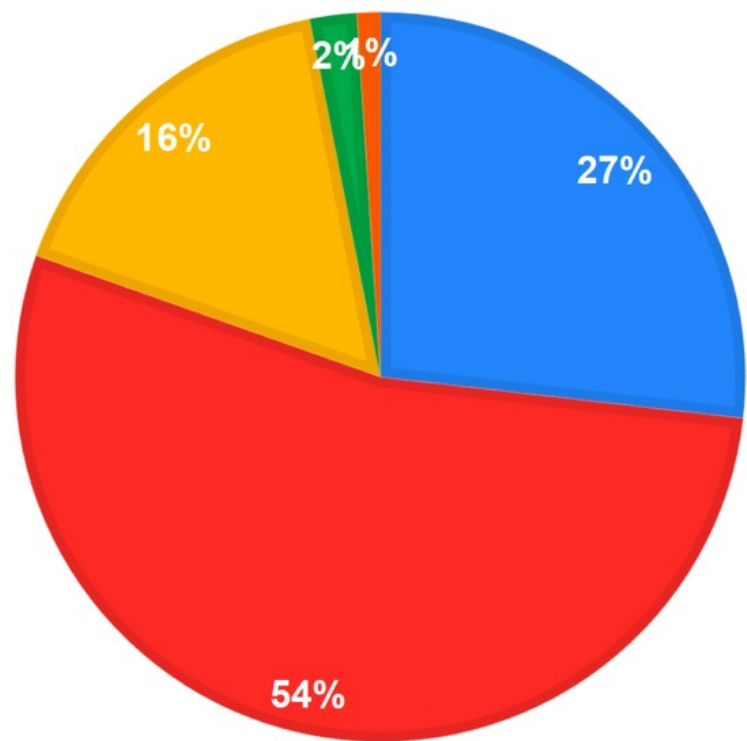
減少 55%



病院427件

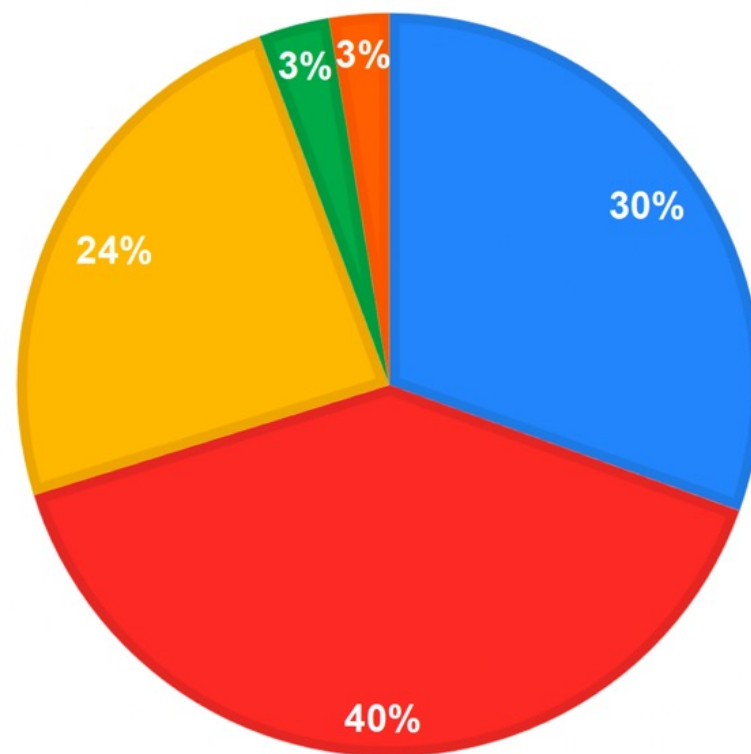
減少 18%

# 貴講座に欠員が生じた場合、リクルートする難易度



大学 97件

**困難 81%**

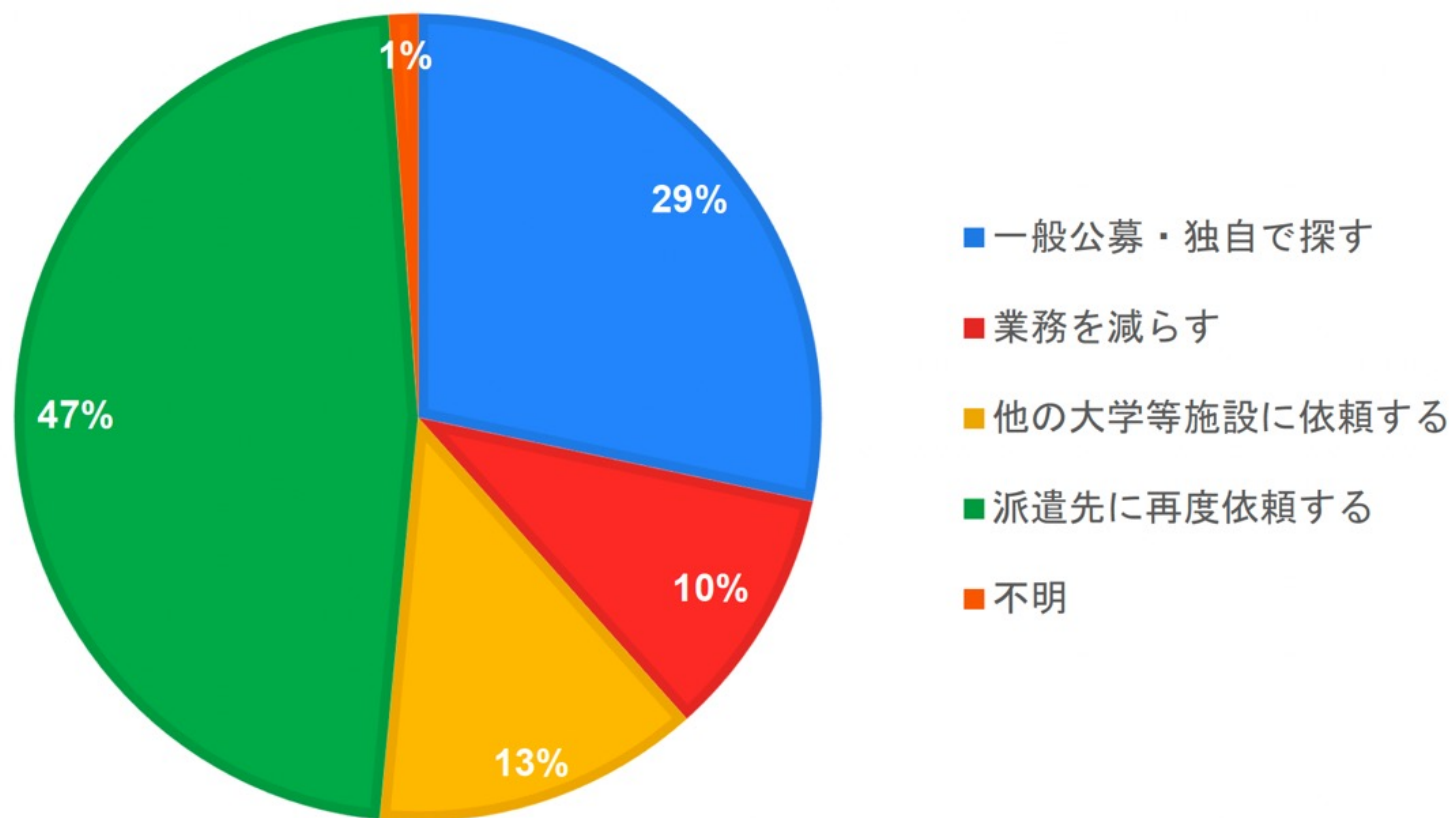


病院423件

**困難 70%**

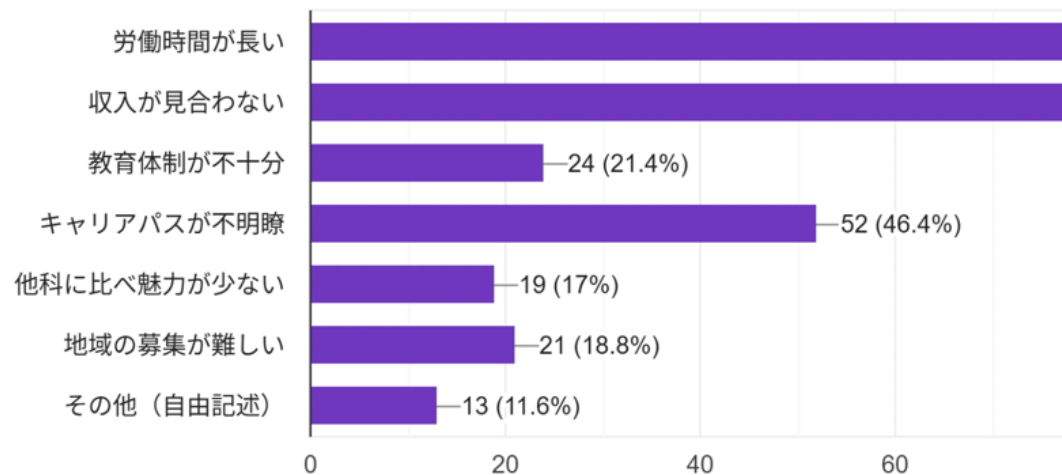
- 非常に困難
- やや困難
- 変わらず
- やや容易
- 非常に容易

# 大学等からの派遣がなく欠員となった際の対応について 病院のみ427件

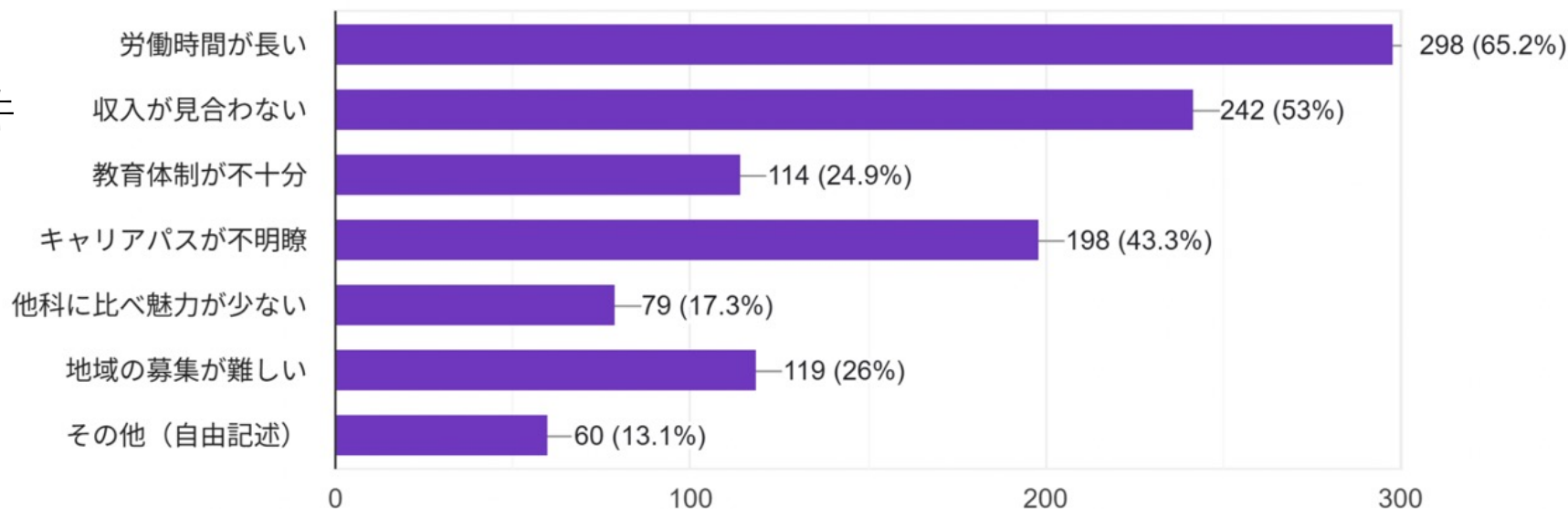


# 若手が口腔外科を志望しない理由

大学  
112件

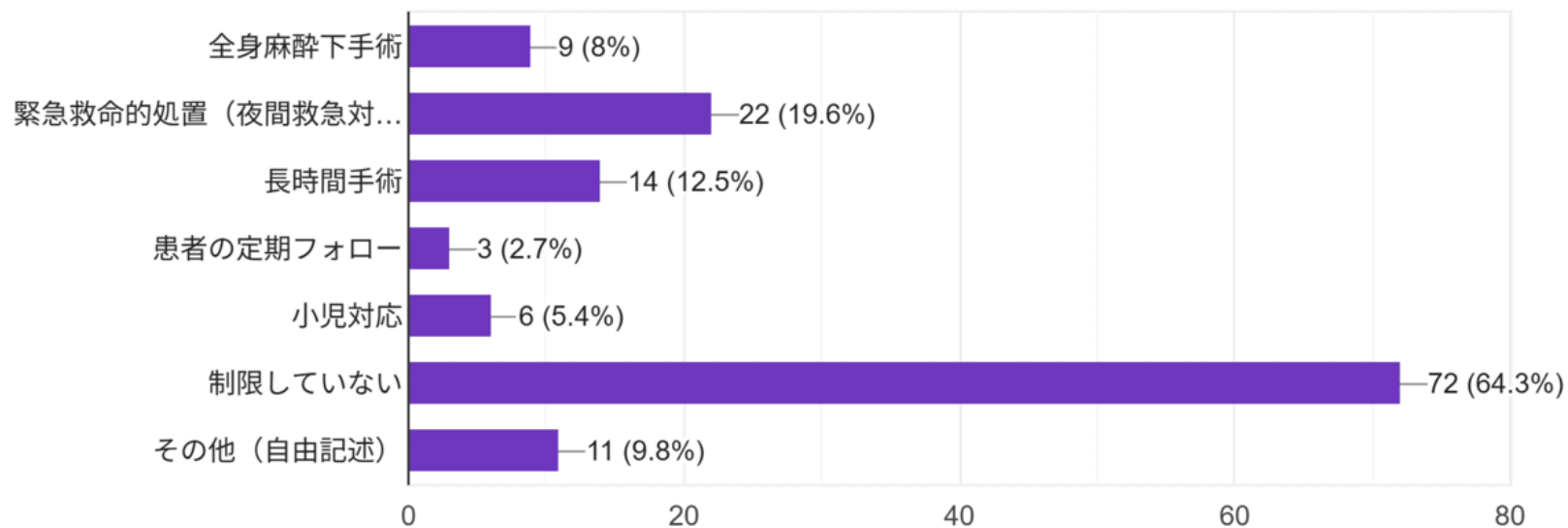


病院  
457件

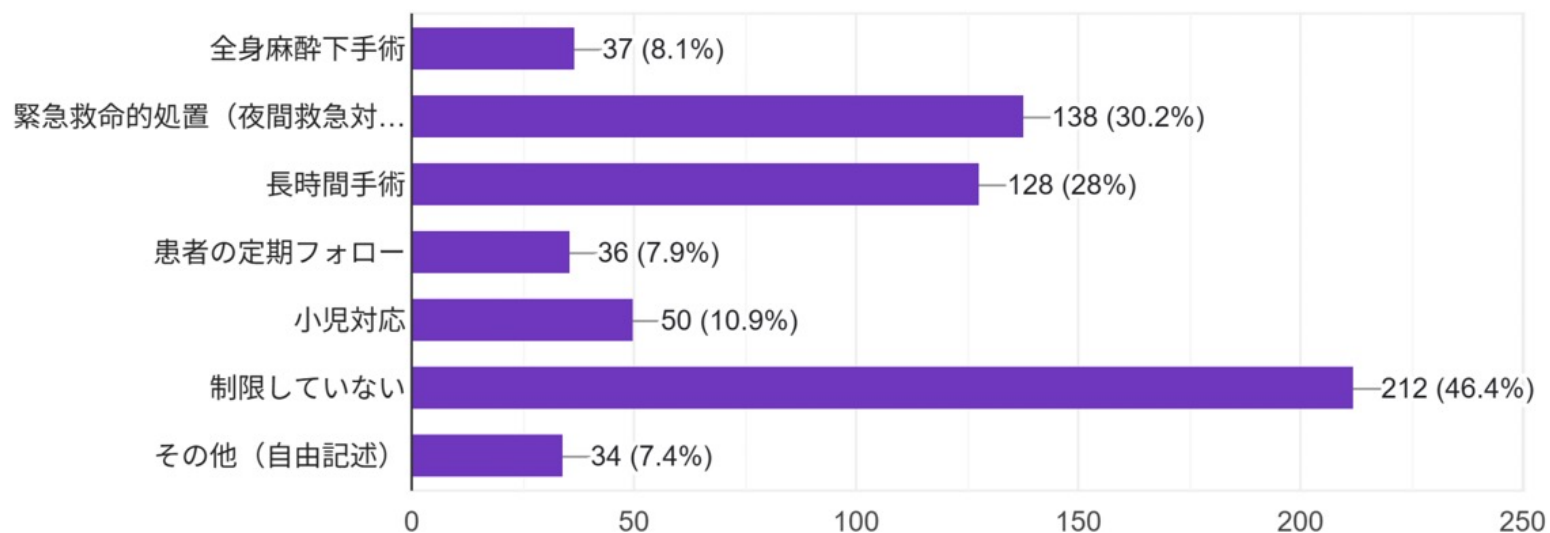


# 人員不足により制限している診療

大学  
112件

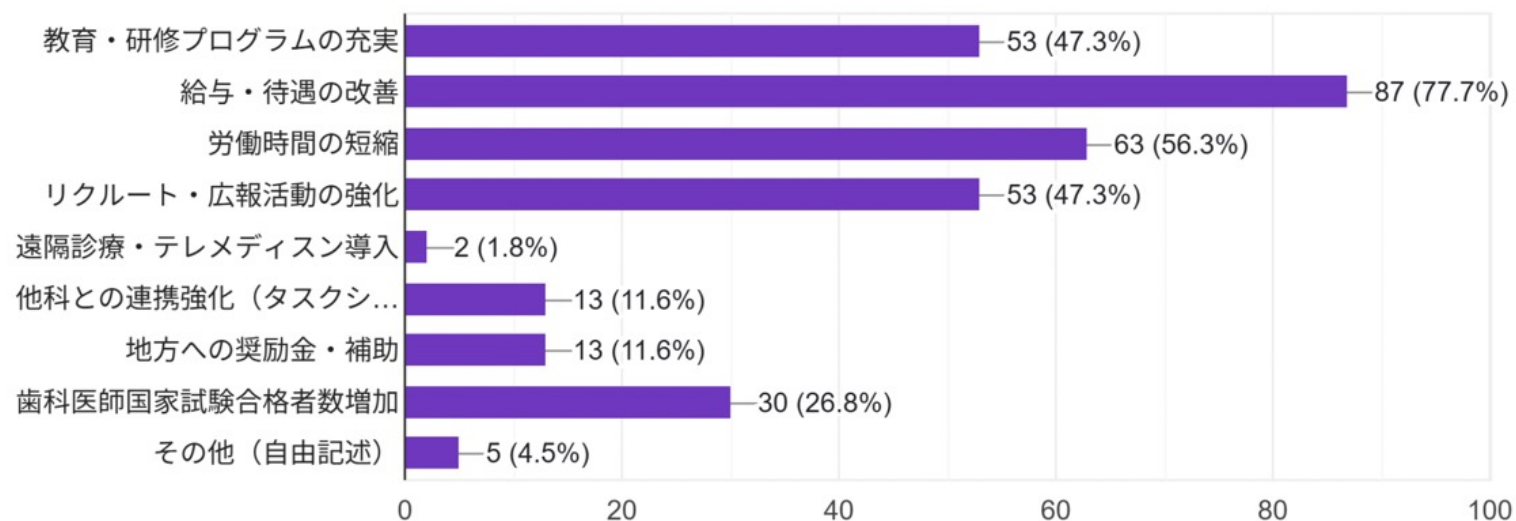


病院  
457件

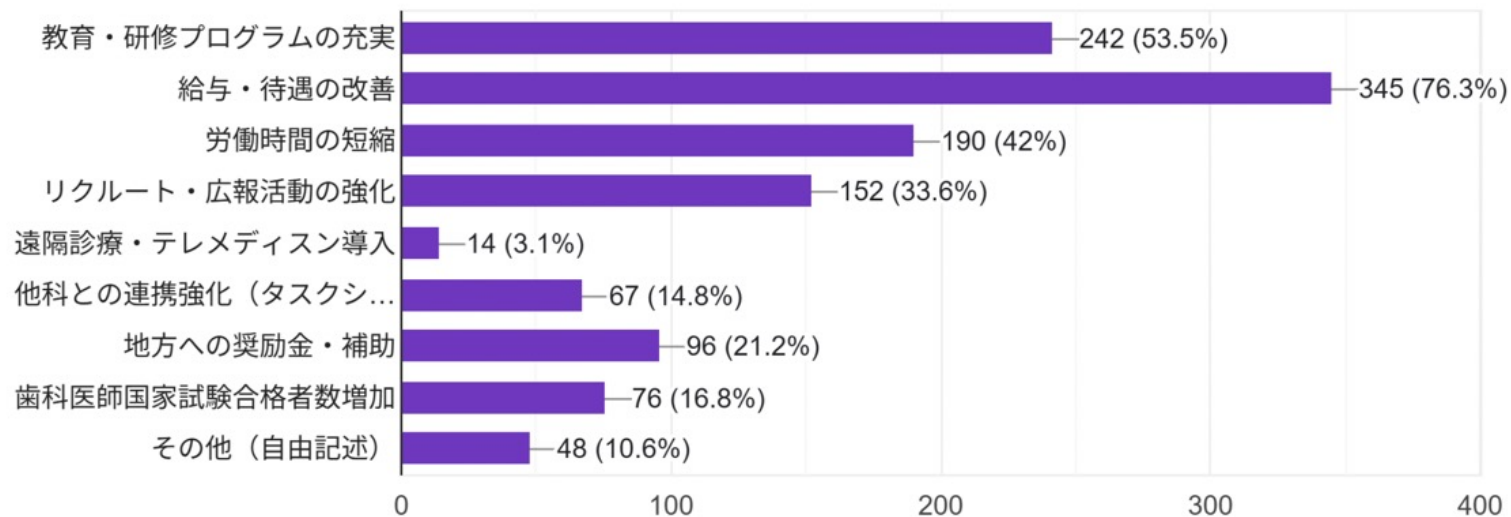


# 人員不足を改善するための施策

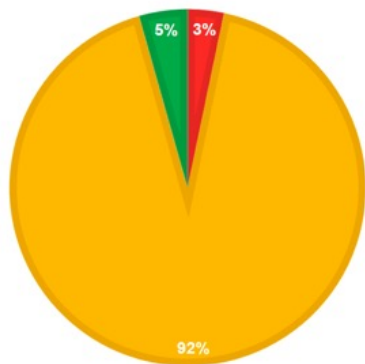
大学  
112件



病院  
457件

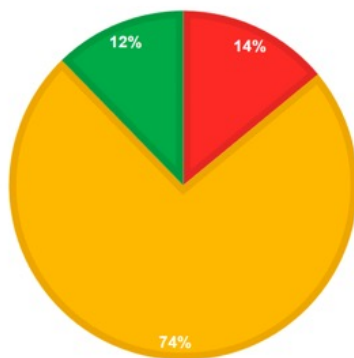


教員充足率 (92施設)



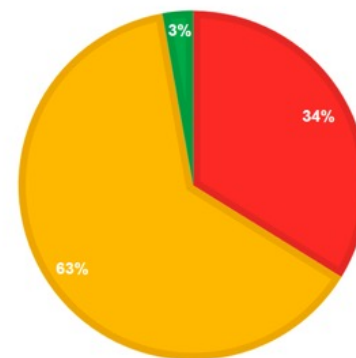
■ 50%未満 ■ 50%~100% ■ 100%超

医員充足率 (57施設)



■ 50%未満 ■ 50%~100% ■ 100%超

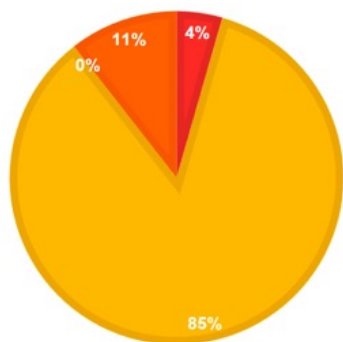
研修医充足率 (71施設)



■ 50%未満 ■ 50%~100% ■ 100%超

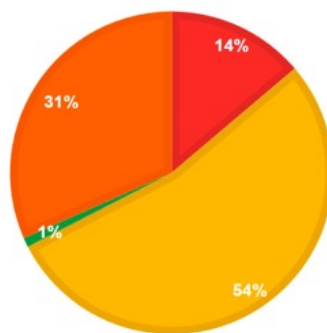
## 大学 充足率

部長・医長 充足率(427施設)



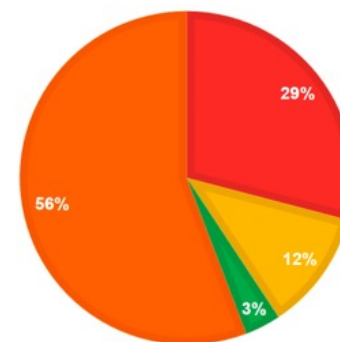
■ 50%未満 ■ 50%~100% ■ 100%超 ■ 不明

医員・レジデント 充足率 (427施設)



■ 50%未満 ■ 50%~100% ■ 100%超 ■ 不明

研修医 充足率 (172施設)



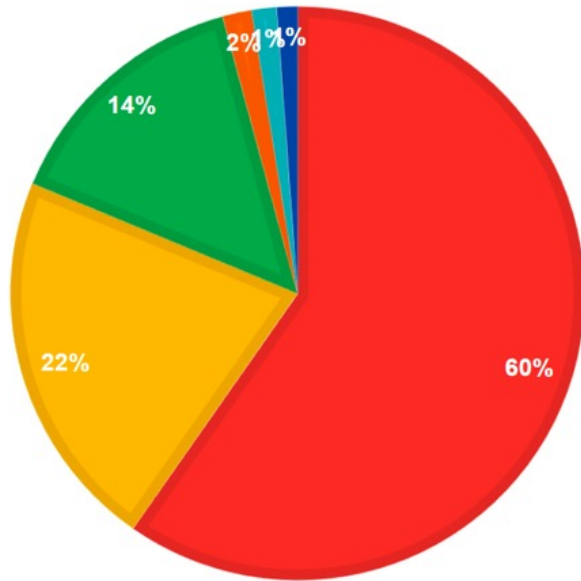
■ 0% ■ 1~49% ■ 50~75% ■ 76~100%

## 病院 充足率

研修医を採用できる施設のみ  
1/3の施設は採用できていない

# 病院施設 研修医

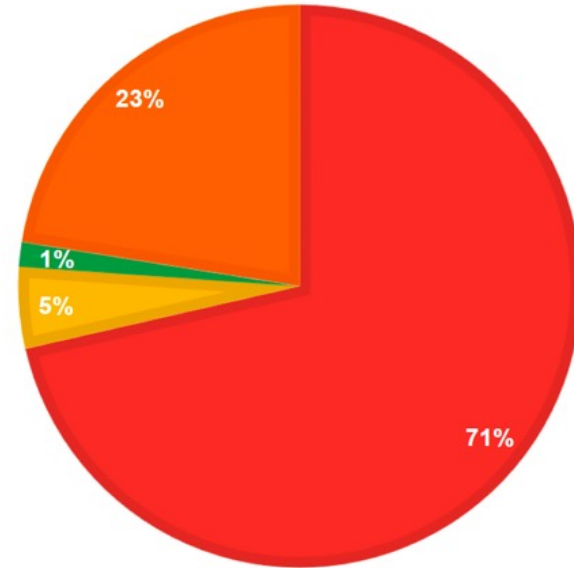
病院 (427施設)



■ 0名 ■ 1名 ■ 2名 ■ 3名 ■ 4名 ■ 5名～

病院施設 研修医採用人数  
60%病院では研修医を採用できない

研修医 充足率 (427施設)

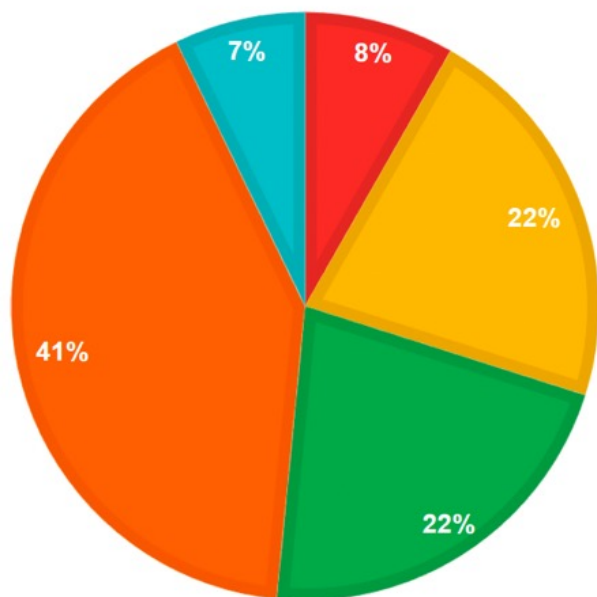


■ 0% ■ 1～49% ■ 50～75% ■ 76～100%

病院施設全体 もともと研修医採用できない施設も含めた充足率

# 外来手術 待機期間

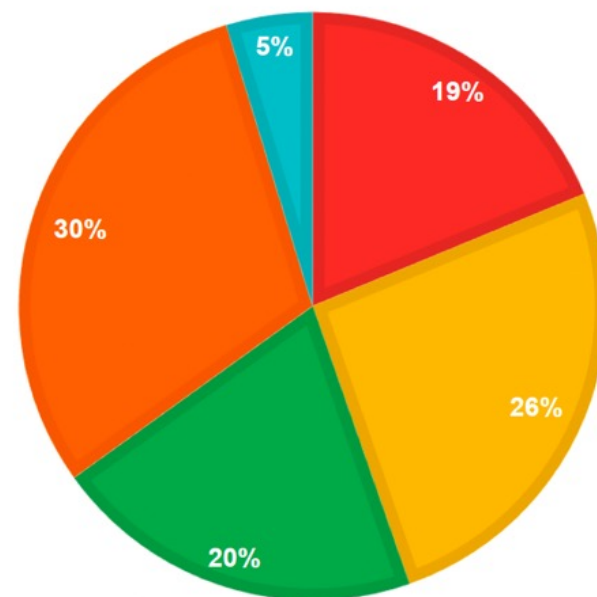
外来手術 待機期間 (97施設)



■ 1W ■ 2W ■ 4W ■ 8W ■ 8W~

大学施設

外来手術 待機期間 (421施設)



■ 1W ■ 2W ■ 4W ■ 8W ■ 8W~

病院施設

# 総括

大学・病院歯科の人材不足は深刻である。  
現在は大学が辛うじて病院歯科の人材を支えているが、  
人材不足はむしろ大学がより深刻である。  
現状では、将来的に大学が病院歯科を支えることも困難  
になると予想され、口腔外科診療の停滞が懸念される。  
口腔外科の人材問題は、個々の施設の努力のみで解決  
できるものではない構造的課題であり、「教育・キャリア  
パス」「診療報酬・待遇」「働き方」「学会・制度  
設計」を含めた包括的な改革が不可欠である